

令和5年度年度自己評価公表シート

作成 飯島幼稚園

1、本園の教育目標

元気に生き生きと活動し情操豊かで思いやりのある子ども

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・本園の教育目標に基づき、運動・音楽リズム・表現遊びの研究を深め、質の高い保育を目指す。
- ・園内研修の充実を図り、教師の資質や保育の向上に努める。
- ・保育や子どもの姿について教師間で情報交換をし、クラスや学年を越えてチーム保育を展開する。

3、評価項目の達成および取り組み状況

	評価項目	結果	取り組み状況の反省
学園の重点項目	教育目標の具現化に向け、学園独自の研究（運動・音楽リズム・劇・絵画表現）を総合的に取り入れ、保育を計画・実践する。	B	コロナ禍が明け、再度、行事や活動の見直しを図り計画・実践することができた。これまでの保育展開等にとらわれず、子どもの実態に基づき、主体性を尊重した保育に努めてきた。より豊かな経験につなげていくための細かな計画性や教師の創意工夫、子どもの姿に応じた柔軟性が必要である。
自園の重点項目	園内研修の充実を図り、教師の資質の向上につなげ、子どもの豊かな経験につなげる。	A	様々な園内研修の方法を取り入れ、「子どもの姿」に重点を置いた研修を継続して行うことができた。また、研修で用いた資料や協議の内容を掲示し、全職員で共通理解を図ってきた。子どもの姿を多面的に捉え、内面を深く理解することにつながった。
	教師間の情報交換を密にし、連携を図りながら、園全体でのチーム保育を展開する。	A	園内研修の積み重ねを通じて、職員間のコミュニケーションが円滑になり、自然に情報交換する場が増えた。また、クラス・学年の枠を超え、子どもの姿や保育の状況に応じて、臨機応変に対応することができた。

4、学校評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
A	コロナ禍が明け、再度、遊びや活動を見直しながら保育の計画・実践を行うことができた。子どもの実態を捉え、主体性を尊重した保育展開ができるよう努めてきた。また、園内研修を通して経験年数を問わず誰でも自分の思いや考えを発信できる雰囲気や関係性が深まった。子どもの内面理解や、教師の援助の在り方について対話し、教師の資質や保育の向上につながってきている。

※3、4の評定結果の表示方法

【A】…十分達成されている。【B】…達成されている。

【C】…取り組まれているが、成果が十分ではない。【D】…取り組みが不十分である。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
指導計画は幼児の発達や実態に基づき作成し、共通理解した上で保育展開する。	全体で指導計画を共通理解し、保育を振り返る時間を確保する。日々の子どもの実態に応じながら、より豊かな経験ができるよう、教師の創意工夫をこらし、臨機応変に変更していけるようにする。
教師間の情報交換を密にし、連携を図りながら、園全体でのチーム保育を展開する。	引き続き、職員間のコミュニケーションの充実を図り、学年やクラスの枠を越え、情報交換しやすい環境を作っていく。記録物（クラスだよりや保育ドキュメンテーション）を有効活用し、教師間の対話を繰り返しながら保育の質の向上につなげていく。